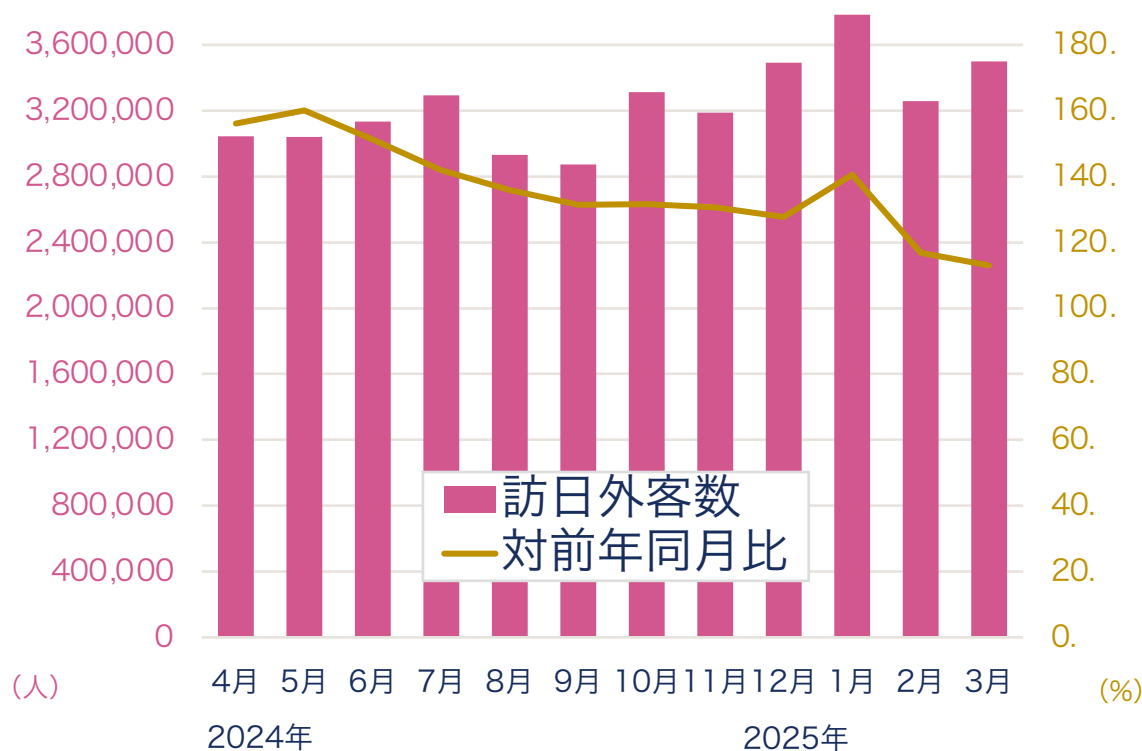


2025年5月 インバウンドマーケット資料



Japan ticket

3月として過去最高の349万人を記録し 累計1,000万人を最速で突破！



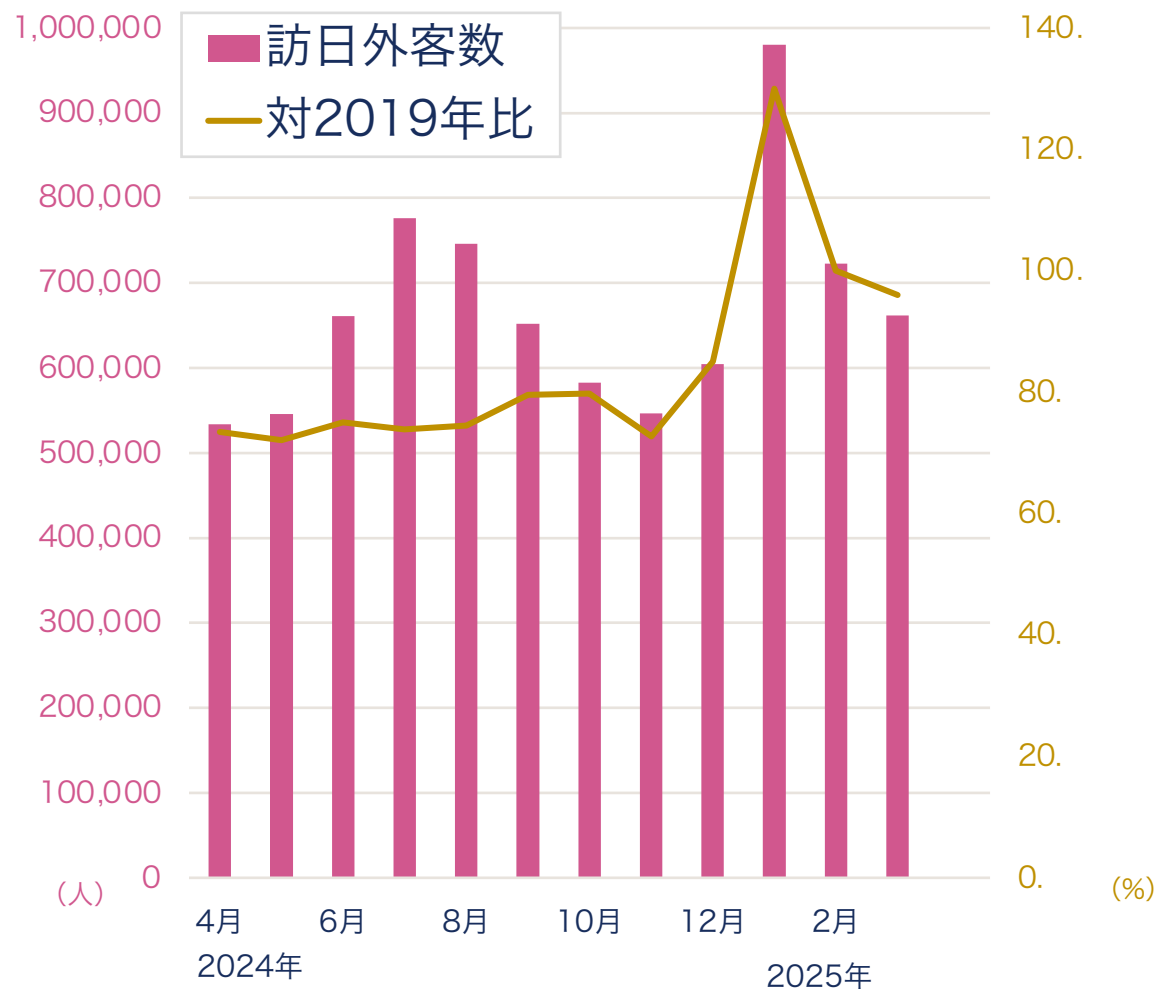
2025年3月の訪日外国人観光客数は
3,497,600人と、**前年同月比+13.5%の大幅増**。
これまでの3月としての最高値
(2024年：3,081,781人) を大きく更新し、
過去最多を記録しました。

さらに、1月～3月の累計訪日者数は1,053万人に
達し、**過去最速のペースで1,000万人を突破**。

	25年3月 主要国訪日数（人）	24年 3月比（%）	19年 3月比（%）
総数	3,497,600	113	127
韓国	691,700	104	118
中国	661,700	146	96
台湾	522,900	108	130
香港	208,400	90	122
タイ	148,200	112	101
シンガポール	65,300	107	149
インド	33,000	121	186
豪州	84,800	102	192
米国	342,800	118	194
メキシコ	14,600	94	254
英国	58,100	103	150

桜と海外祝祭日で需要が高まり 6市場で単月過去最高を更新！

- 桜シーズン＋海外祝祭日で旅行需要が高まる
・ 中東・東南アジアでは宗教行事に伴う休暇で海外旅行需要が増加。
・ 東南・南アジアや欧米豪など、広範囲で訪日客が増加。
- 米国・カナダなど6市場で単月過去最高を記録
・ 韓国・台湾・タイなどを含む11市場で3月としての過去最高を更新
・ 3月までの累計では多くの重点市場で過去最高を記録
- 政策面での支援策も今後に期待
・ 「地方誘客促進」や「旅行補助制度」などが示され、今後の需要拡大・地域誘客への寄与が期待される



**訪日中国人数は66万人超
前年同月比146%!**

**春節明け後のオフシーズンでも
前年超えを達成!**

- 訪日外客数：
661,700人 (24年同月146%)
- 増加要因
 - ・ 春節休暇・スクールホリデー終了後の落ち着いた時期にも関わらず需要維持
 - ・ 成都・北京・南昌～関西間など地方空港路線の増便
 - ・ 地政学的要因も影響し、日本を選ぶ動きが競合国よりも優勢に

※コロナ前の通常時との比較を明確にするため、すべて2019年の数値と比較しています
※2025年4月17日発表 日本政府観光局 (JNTO) 訪日外客数 (2025年3月推計値) をもとに作成

訪日客の増加で大阪市内は混雑、自店には関係ないは通用せず、 多言語対応や販促・導線の見直しが急務に。

実際の訪日客数・来場者構成・宿泊動向からは、インバウンド需要の高まりが明確に見えてきます。

2025年
大阪府の訪日外国人数は

過去最多

1,600万人

前年比+140万人
万博目的の来日増加が
見込まれる

万博来場者のうち外国人は

半年間の会期中

350万人想定

高価格帯ホテルの
予約動向から、高消費層の来場
が見込まれる

大阪市内のホテルは

満室続出

アパホテル：
週末予約率70%、満室見込み
ウォルドーフ・アストリア：
海外予約が国内を上回る

万博を起点に急増する訪日客は、 実際に業種ごとの集客・売上に“変化”を生み始めています。



飲食

- ▶ 団体予約・社員旅行で外食ニーズ上昇
- ▶ 高単価ホテル利用層が増加 → 高価格帯の需要



小売

- ▶ 高島屋大阪店：来客数前年比1割弱増
- ▶ 近鉄百貨店上本町店：来店数4%増
- ▶ 万博ストア：開幕前後で売上3倍以上の伸び



観光施設

- ▶ 海遊館：来館者数数%増
- ▶ 太秦映画村：訪日客20%増
- ▶ J1ガンバ大阪：海外団体予約が入る



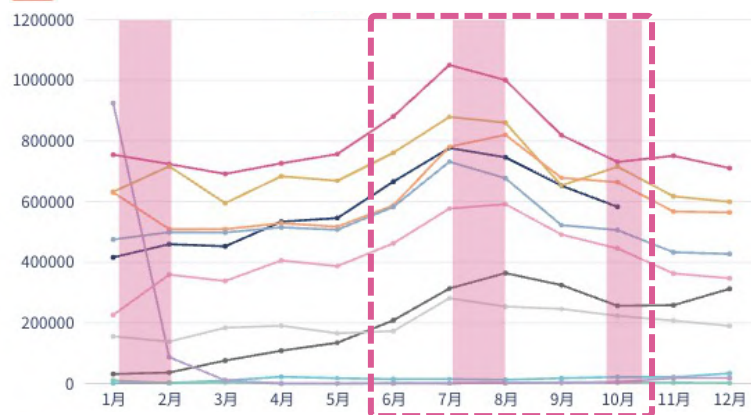
短期だけでなく、中長期の「受け皿づくり」がカギ

■主要5カ国 月別訪日客数の推移

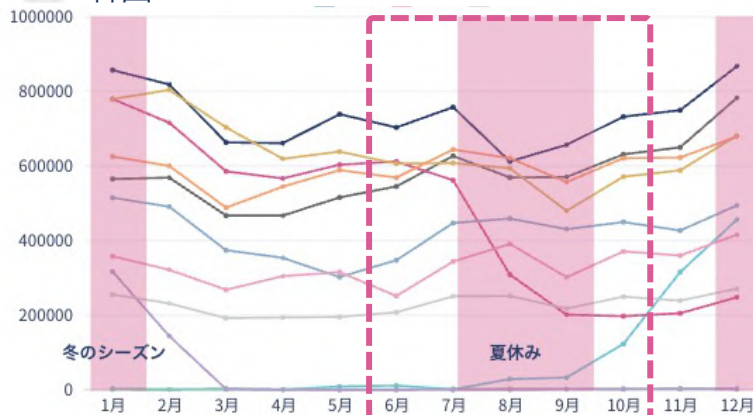
主要5カ国からの訪日客は、例年6～9月にかけて大幅に増加傾向。
今のうちに受け入れ環境・集客導線を整えることで、夏の盛り上がりを実実にキャッチできます。



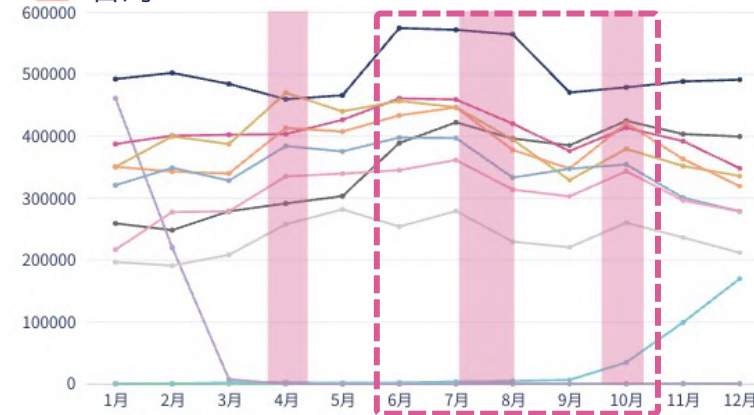
中国



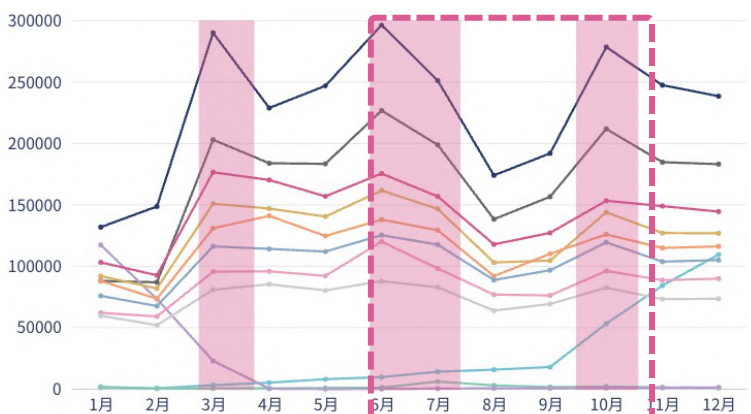
韓国



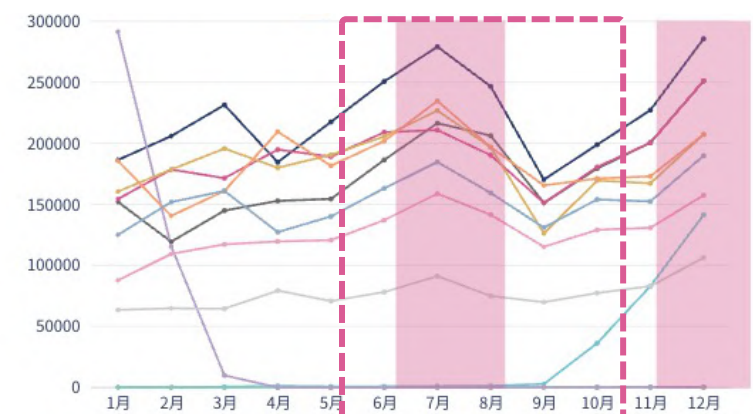
台湾



アメリカ



香港



狙い目の時期

サマーシーズン

2024 2023 2022 2021 2020 2019 2018 2017
2016 2015 2014



Japan ticket